



V. 初動期の交通基盤施設計画 ～自転車駐車場の検討～

1. 東口自転車駐車場 (1) 現況整理と整備の方向性

■ 周辺状況の整理

◆ 東口駅前広場整備計画

- ・ 駅前広場整備に合わせた地下活用

◆ 暫定自転車駐車場の存在

- ・ 暫定利用の解消の必要性

◆ 新設自転車駐車場用地が不足

1. 東口自転車駐車場 (1) 現況整理と整備の方向性

■ 早期に解消が必要な暫定自転車駐車場

- ・5箇所
- ・約2,000台
- ・利用目的:
通勤・通学、
買い物等



■ 整備計画検討の方向性

- ◆ 駅前広場整備に合わせた地下自転車駐車場整備
- ◆ 通勤・通学、買物等利用目的や自転車の形状に対応した整備

1. 東口自転車駐車場 (2) 整備パターンの検討

■ 自転車駐車場の整備パターンの整理(たたき台での整理)

＜収容台数2,000台、公共用地利用を想定＞

整備パターン	収容台数	特徴
平置き	約2,000台(平置き)	・駐車が容易 ・駐車場面積が広範囲
平置き + 2段ラック	約500台(平置き) 約1,500台(2段ラック)	・駅前広場地下に集約 ・2段ラックの駐車の手間
平置き+機械式 (茶筒型)	約200台(平置き) 約1,800台(茶筒型)	・駅前広場地下に集約 ・機械式は事前登録必要 (買物等目的に不向き)
平置き+機械式 (水平型)	約1,000台(平置き) 約1,000台(水平型)	・駅前広場地下に集約 ・機械式は事前登録必要 (買物等目的に不向き)

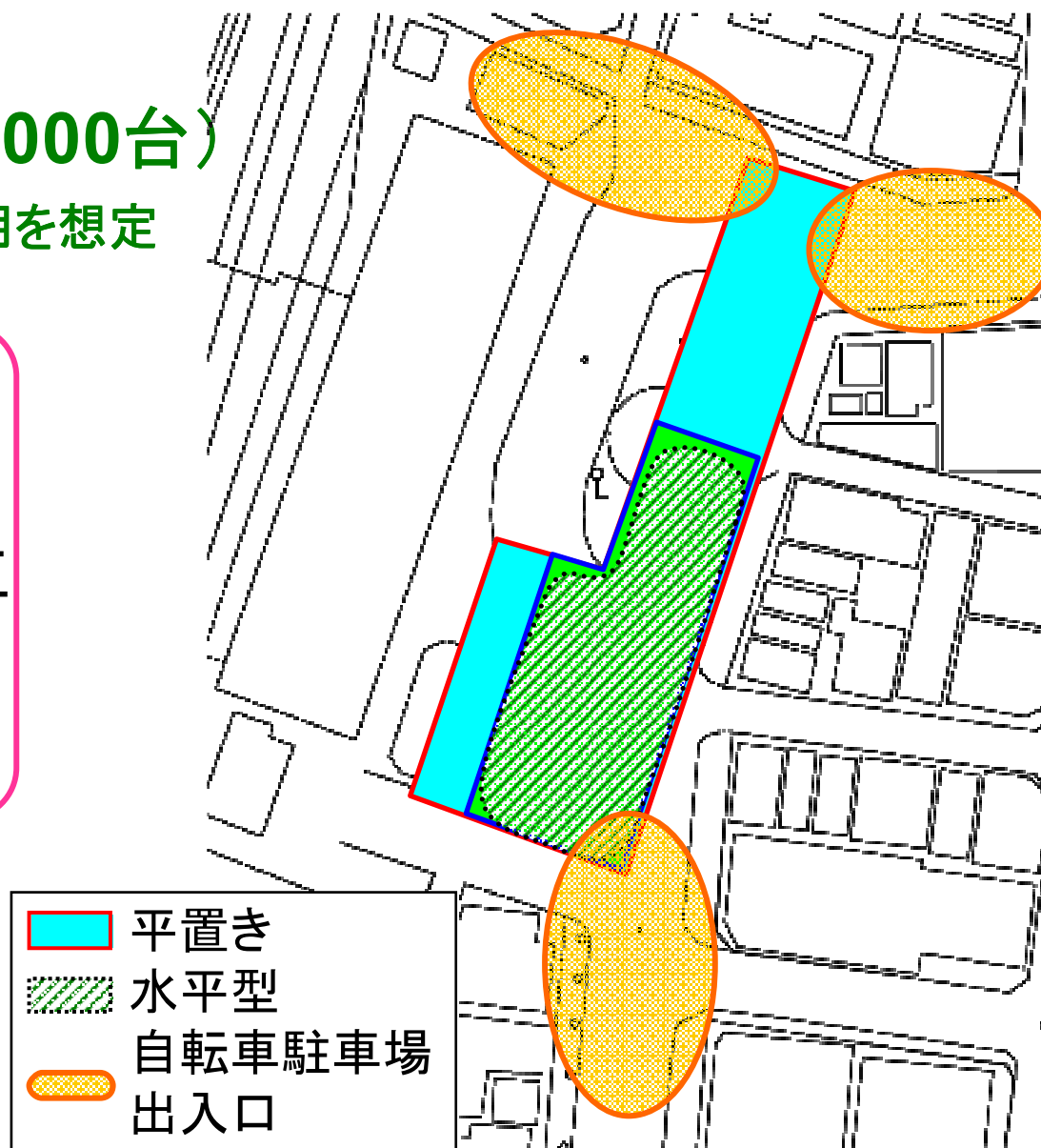
1. 東口自転車駐車場 (2) 整備パターンの検討

- 平置き(約1,000台)
+ 機械式水平型(約1,000台)

※公共用地利用を想定

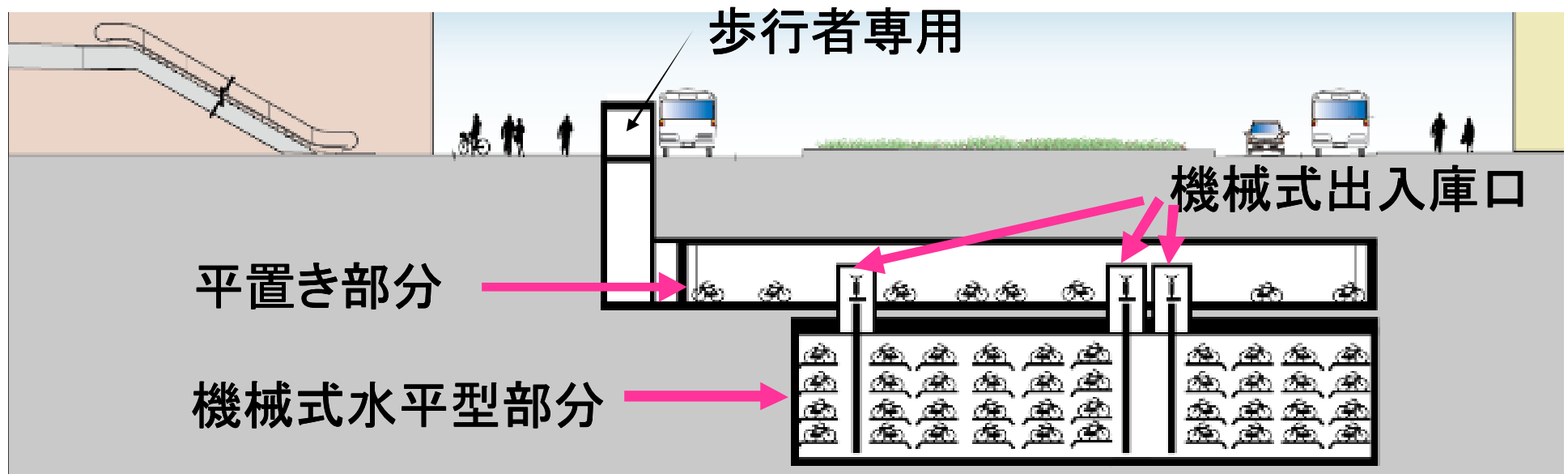
【特徴】

- ・駅前広場地下に集約
- ・機械による容易な駐車
- ・機械式出入口の設定
- ・平置き台数の確保



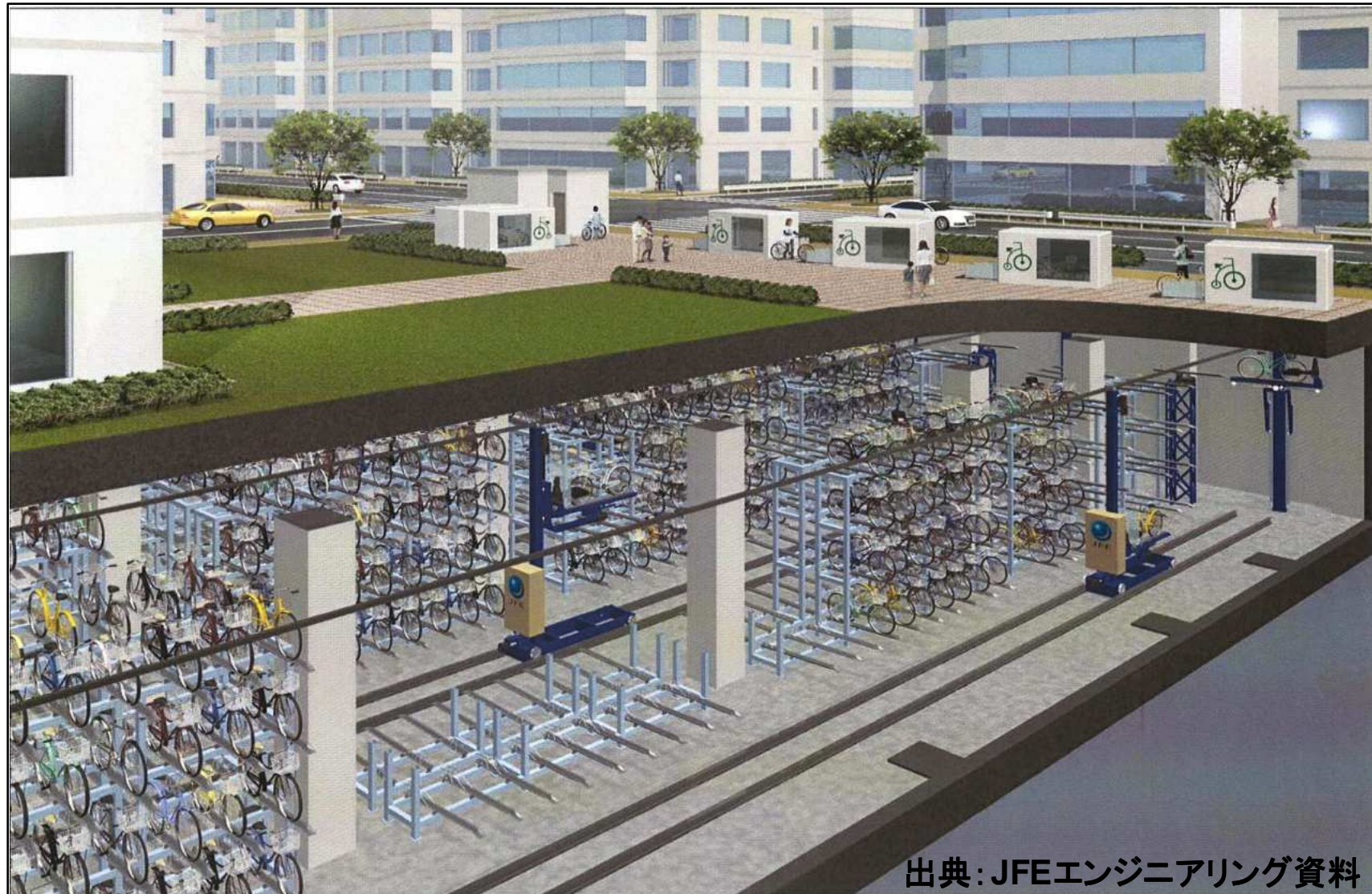
1. 東口自転車駐車場 (2) 整備パターンの検討

● 断面図イメージ



1. 東口自転車駐車場 (2) 整備パターンの検討

● 水平型イメージ(機械式の出入口が地上にある場合)



出典: JFEエンジニアリング資料

1. 東口自転車駐車場 (3) 検討課題

■ 整備に向けた検討課題

◆ 駅前広場整備計画と統合した配置計画の検討(地下出入口位置等)

◆ 整備台数の精査

※ 駅前広場内のJR用地活用の可能性も検討

◆ 利用目的にあわせた自転車駐車場整備

◆ 周辺自転車駐車場の利活用

2. 西口自転車駐車場 (1) 現況整理

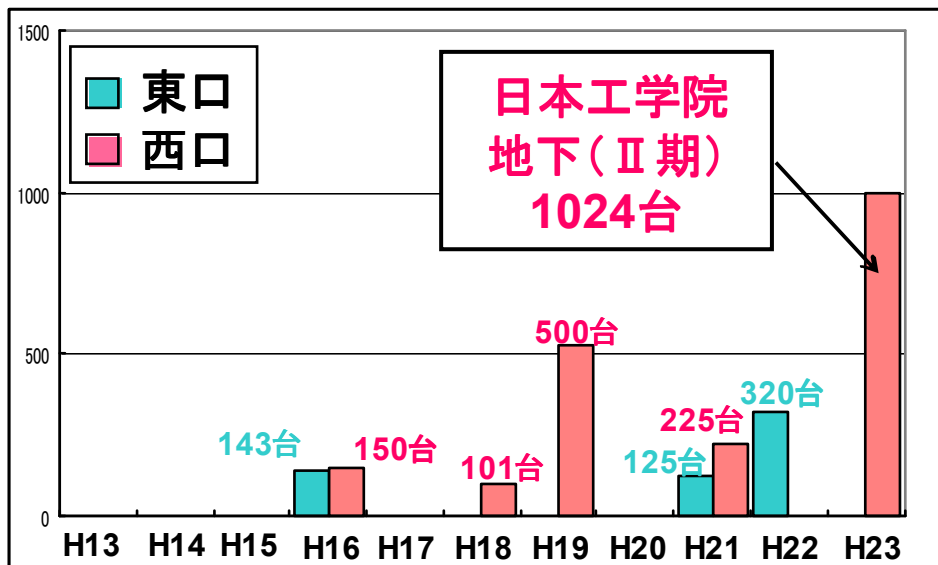
■ 駅周辺における自転車駐車場整備状況

◆ 過去10年間整備台数

東口：約600台

西口：約2000台

【過去10年間の自転車駐車場整備状況】



駐車場名	設置年月	設計収容台数
蒲田駅西口呑川横	H16.9	150
蒲田5丁目サイクル24h	H16.12	143
エコステーション21蒲田	H18.12	101
日本工学院地下(I期)	H19.4	500
蒲田駅東口臨時駐車帯	H21.9	125
蒲田駅西口臨時駐車帯	H21.9	225
蒲田五丁目45番	H22.9	320
日本工学院地下(II期)	H23.4	1024

2. 西口自転車駐車場 (1) 現況整理

■ 自転車利用現況整理

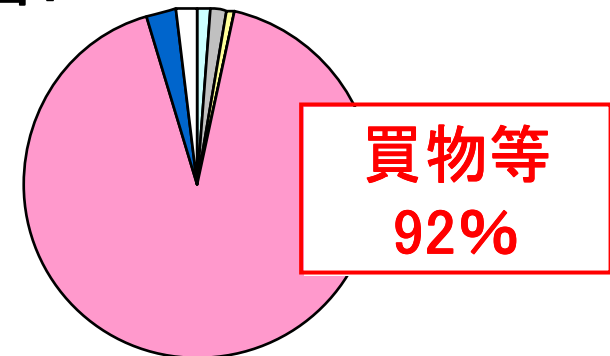
◆ 駅周辺に分散して放置自転車が多数存在

放置自転車発生個所(18時台)

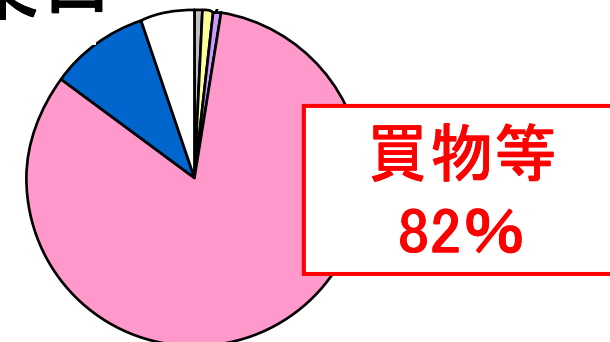


路上放置駐輪者

西口



東口



2. 西口自転車駐車場 (2)整備の方向性

■整備の方向性

◆民間の協力による小規模分散型の自転車
駐車場整備

■中長期の対応

◆新空港線「蒲蒲線」整備に合わせた地下
自転車駐車場整備の検討

◆駅舎・駅ビルの機能更新時の整備の検討